

日本国憲法と登山を考える集い

改憲と教育基本法改悪を公言し、集団的自衛権行使をも公然と掲げる安倍新政権が誕生しました。小泉前政権以上にタカ派で危険な新政権は、靖国問題でこじれた近隣諸国との関係を小手先で修復しつつ、国内では北朝鮮の核実験問題も利用しながら、日米同盟強化とアメリカの世界戦略へのより積極的加担をもくろんでいます。

日本の平和と民主主義の礎である日本国憲法を守るたたかいは、いよいよこれからが正念場となります。

今回は全国 9 条の会事務局員で日本を代表する著名な憲法学者である渡邊治さんを講師に招きます。日本国憲法をあらためて学びこれを守るたたかいに確信を深めながら、日本の登山界の将来も語り合いたいと思います。

日時 11月14日(火)午後7時 開会 (午後6時30分開場)

会場 日本勤労者山岳連盟事務所 1階ホール

第1部 講演 「9条はなぜ守らなければならないか」

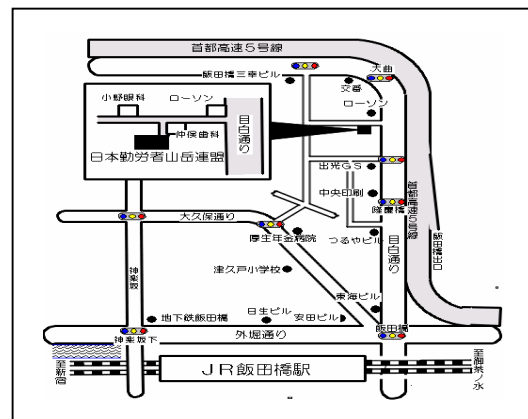
講師 渡邊 治 氏(一橋大学大学院教授)

第2部 ミニパネルディスカッション「日本の登山、言いたい放題」

登山界代表のディスカッションと会場参加者とのトーク

主催者からの訴え

参加費
500円
(資料、お茶代)



主催 登山者9条の会

〒204-0003 東京都清瀬市中里 6-95-5-104 西本武志方 042-492-4095